

ワークショップ<芸術工学を体験する>

線で描くサウンド

建築が夢見る音楽

- クセナキス生誕百年を記念して -

5月29日(日)

13:30~17:00

名古屋市立大学芸術工学部
図書館棟 2F 大講義室

出演者

水野みか子 (名古屋市立大学)
向口武志 (名古屋市立大学)
嶋津武仁 (福島大学)
鈴木悦久 (名古屋学芸大学)
古川聖 (東京芸術大学)
藤井晴行 (東京工業大学)
濱野峻行 (株式会社 cotton)

参加方法

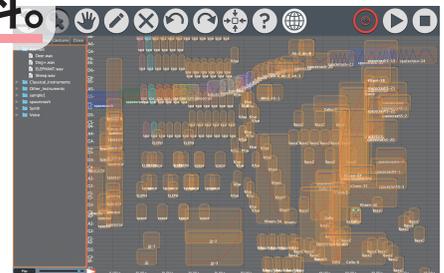
当日会場にお越しください。**申込み不要。参加無料。**

高校生以上であれば、どなたでもご参加いただけます。

以下のリンクから、iOS の機器 (iPhone、iPad など) に UPISketch アプリの version 1 をダウンロードしてインストールしてから第 1 部に参加するとより一層楽しめます。
<https://apps.apple.com/jp/app/upisketch/id1389444597>



UPISketchアプリの画面の様子



第 1 部 線で描くサウンド -- 描画に基づく音楽作品の紹介およびサウンド制作の体験

20 世紀の作曲家イアニス・クセナキスが開発した UPIC にちなんで 21 世紀に開発されたソフトウェアの一つに UPISketch があります。第 1 部では UPIC と UPISketch の違いを解説のあと、描画で直感的にサウンドを描いていくことを体験していただけます。当日は、UPIC システムによる日本の代表的な作品《Monodie IV》を紹介し、作曲者である嶋津武仁氏もオンライン参加します。

第 2 部 建築が夢見る音楽 -- レクチャー&パフォーマンス

建築空間と音楽表現を同時生成するコンピュータプログラムを使い、建築空間と音楽の認知、体験をつなぐ多次元マッピングシステムのプレゼンテーションとパフォーマンスが行われます。

会場アクセス

名古屋市立大学芸術工学部 図書館棟大講義室

〒464-0083 名古屋市千種区北千種 2-1-10 ※お車でご来場いただけます (駐車場有)

公共交通機関の場合

地下鉄ナゴヤドーム前矢田駅から▶1 番出口より徒歩 15 分

名古屋駅から▶名古屋駅バスターミナル10 番のりばより基幹 2「萱場(かやば)」下車

地下鉄栄駅から▶「オアシス 21」3 番のりばより基幹 2「萱場(かやば)」下車

地下鉄池下駅から▶3 番のりばより幹砂田 1「清明山」下車 徒歩 3 分

主催：ミッドジャパン音の芸術祭、Meta-Xenakis 日本チーム

共催：名古屋市立大学芸術工学部環境デザイン研究所

協力：名古屋学芸大学

助成：公益財団法人 ロームミュージックファンデーション

公益財団法人 かけはし芸術文化振興財団



出演者プロフィール

水野みか子（作曲、音楽学）

東京大学文学部美学芸術学科卒業後、愛知県立芸術大学音楽学部・同大学院で作曲を学ぶ。2000年、「現代音楽における空間性」をテーマとする論文で博士（工学）号取得。作曲作品は国内外の音楽祭や劇場で多数演奏されている。最近では、ICMC2017/2018/2019/2022、NIME2021、台湾国立芸術センター開館記念演奏会（2018）、オーケストラ・プロジェクト2020、アジア音楽祭2022への出演のほか、国際音楽祭等でマスタークラスを実施（ランス地方音楽院、台湾国立交通大学、北京中央音楽院）、あいちトリエンナーレ公募公演企画・参加（2013/2019）、セントラル愛知交響楽団委嘱初演などがある。2016年ソルボンヌ大学客員研究員。日本電子音楽協会会長、名古屋市立大学大学院芸術工学研究科教授。

向口武志（建築学、意匠・建築史）

名古屋大学工学、同大学院にて建築を学ぶ。近代都市の形成に関わる論文で博士（工学）号取得、建築設計事務所勤務を経て、名古屋市立大学に着任。建築の意匠設計を継続しながら、近世・近代の都市形成に関わる史的な研究を行う。歴史的な町並みに関するフィールド調査に数多く参画し、町並み保全など地域再生に関わるプロジェクトに深く関わっている。名古屋市立大学准教授。博士（工学）、一級建築士。

嶋津武仁（作曲、指揮）

作曲を甲斐説宗、住谷智、柏木俊夫らに、指揮を伊藤栄一らに師事。1977年ドイツへ留学。ベルリン芸術大学にて作曲をイサン・コンに師事。ゲバントハウス管弦楽団、DAAD、ISCM「世界音楽祭」や芙二現代舞踊団、日本舞踊西川宗家、及び洋楽器、邦楽器奏者などより作品を委嘱。米ジョージア大学客員教授（2000）。ザールブリュッケン音楽祭（2003）、ドレスデン音楽祭（2005）、プロツワフ音楽祭（2006）、北京国際電子音響音楽祭（2008）、台湾国際電子音楽祭（2009）、ミュージック・フロム・ジャパン音楽祭（2012年、ニューヨーク）、トンヨン国際音楽祭（2013年）などに参加。ヴァニアフスキ国際作曲コンクール（1980）、ハンパツハ国際作曲賞（1982年）、プールジェ国際電子音楽コンクール（1996）入賞、文化庁舞台芸術創作奨励特別賞（1998）他、受賞。国際現代音楽協会 ISCM 世界音楽祭（1982/88/93/2016）、アジア音楽祭（1982/86/91/99）、コンピュータ音楽国際会議 ICMC（1988/93/96）他入選。福島大学名誉教授。

鈴木悦久（作曲、打楽器奏者）

作曲家、打楽器奏者。昭和音楽大学で打楽器を情報科学芸術大学院大学（IAMAS）で作曲を学ぶ。打楽器とコンピュータプログラムによる作品を中心に創作活動を行う。アルスエレクトロニカ2006 デジタルミュージック部門ホノラリーメンション受賞（Mimiz 名義）。JSEM 日本電子音楽協会理事。JSSA 先端芸術音楽創作学会運営委員。名古屋市芸大学准教授。

古川聖（作曲、実験音楽）

高校卒業後渡独、ベルリン、ハンブルクの音楽大学でイサン・コン、ジェルジ・リゲティのもとで作曲を学ぶ。米、スタンフォード大学、ドイツ、ZKMなどでアーティスト・イン・レジデンス。作品は、新しいメディア、科学と音楽の接点において成立するものが多く、1997年のZKMの新館のオープニングでは委嘱をうけて、マルチメディアオペラ『まだ生まれぬ神々へ』を制作・作曲。社会の中で表現行為が起こる場、新しいアートの形を探し、新しいメディアを使ったワークショップを世界各国で行っている。アルス・エレクトロニカデジタルミュージック部門審査員（2007）、理化学研究所客員主幹研究員（2008-2013）、東京芸術大学先端芸術表現科教授。

藤井晴行（建築学、デザイン科学）

早稲田大学、同・大学院にて建築学を、カーネギーメロン大学にて哲学・計算言語学を学び、シドニー大学にて Design Computing & Cognition の研究に従事する。形式言語の統語論・意味論、機械翻訳の理論、数理理論、認知言語学を応用し、デザイン科学の方法論と理論を構築する実践的研究と研究的実践を進めている。東京工業大学教授。東京芸術大学ゲスト講師、東京医科歯科大学非常勤講師。博士（工学）。一級建築士。共著に「知のデザイン - 自分ごととして考えよう」（近代科学社）、「一人称研究のすすめ - 知能研究の新しい潮流」（近代科学社）、「建築のデザイン科学」（京都大学学術出版会）、「デザイン・コンピューティング入門 - Python による建築の形態と機能の生成・分析・最適化」などがある。

濱野峻行（メディアアート、計算機科学）

国立音楽大学音楽文化デザイン学科にて作曲、コンピュータ音楽を学ぶ。オランダ王立音楽院ソロジー研究科修士課程修了。2014年まで科学技術振興機構 ERATO 岡ノ谷情動情報プロジェクト研究員（理化学研究所脳科学総合研究センター客員研究員と兼任）。東京芸術大学大学院美術研究科後期博士課程修了。現在、株式会社 cotton 最高技術責任者（cotton.jp）。国立音楽大学、東京芸術大学非常勤講師。コンピュータ音楽、画像処理、生体信号解析、ソフトウェアエンジニアリングなどの領域を基盤とし、音楽・メディアアートのための創作システム開発のほか、開発マネジメント、ICT・プログラミング教育活動も行う。

連携企画1 サウンドインスタレーション（鑑賞無料、高校生以上、指定時間のいつでもご覧いただけます。）

5月27日（金）13:00-17:00、28日（土）11:00-17:00、29日（日）11:00-13:00
名古屋市立大学芸術工学部図書館棟・芸術工学棟

《Warm Sphere》VR と Ambisonics による 4 分程度の映像作品を着席して VR ゴーグルで鑑賞

寺井尚行：先端的な複合表現作品を創作している。<Decrements> for alto saxophone & technology 等を初めとして、つくば科学万博、瀬戸内国際芸術祭等の開会式音楽を手掛けた。愛知県立芸術大学名誉教授。

《Drops》高い所から落としたBB弾が、空き缶や鍋などに当たって鳴る音を楽しむ作品

大河内俊則：1963年三重県生まれ。視覚と聴覚の関係を題材に制作を行っている。

連携企画2 ワークショップ「AIによる作曲の世界 --- DeepBachに触れる」

5月28日（土）14:00~16:00（参加無料、大学生以上、先着順で5名まで参加可能、要予約）
名古屋市立大学芸術工学部 音響デザイン室

《講師》細井博之：多数の器楽作品や電子音響作品の創作を行う。近年はAI（機械学習）の研究開発にも携わる。
《内容》パツハ風の曲を自動的に作り出す DeepBach と呼ばれる AI の仕組みを解き明かす。

◎5月23日までにメールでお申し込みください。参加申込み： mikakom@sda.nagoya-cu.ac.jp

